



### 3. 活動内容

#### (1) 防災

日常の学校での活動を通じて課題解決力を育成し、持続発展可能な社会をつくる担い手を育てる。その理念から、本年度鶴牧中学校はESDの柱を「防災・減災」において活動を行った。自助・共助の知識と技能を学び、実践力と行動力を身に付けることを目標として行った。

① 災害時における「自助・共助」についての映像教材を見て、自分はどんな「自助・共助」が出来るかを考えた。(被害想定・情報活用・備蓄の視点を設定)

② 「防災巻を作ろう・自助パック(非常持出袋)を考える」

《出前授業》 講師 朝日新聞東京本社CSR推進部 日本NIE学会理事

災害発生時、自分がどのような状況に置かれ、何を思い考え、どう行動するか、流れに沿って、自分を主人公にした3日間の行動を書いた。H27年9月3日(木)13時15分 晴れ 震源地 東京都西部 震度6というように統一して条件を決めて、その後の行動を考えさせた。夏休みの課題とし、家族ともよく話し合わせて作成した。様々な災害状況をイメージして、それに応じた避難の仕方を考えておくことが、自分や家族の命を守ることにつながるということを理解させた。その中で必要な物を考えさせ、夏休み中に自助パックの中身をそろえ、学校保管とした。参考として、「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター作成の防災グッズチェックリスト」を配った。

③ 減災・防災キャンプ(1年 9月25日、26日)

#### 1 防災・減災キャンプ開所式

#### 2 講座 「被災時のサバイバル衣・食・住～自分と大切な人を守る防災術」

講師 「NPO法人コドモ・ワカモノまちing」

将来必ず起こる自然災害の時に、命を守るために本当に必要な知識・技能を学んだ。

#### 3 ワークショップ

(4つのグループに分かれローテーションして4講座の内容を学んだ。1講座30分)

ワークショップ① (・活動内容 講師)

- ・【AED、心肺蘇生】  
多摩消防署及び消防少年団の指導・実演による実践的講習

ワークショップ②

- ・【救助、救出】  
「NPO法人コドモ・ワカモノまちing」  
モップの柄を使っての担架作り、限られた素材を使ってのけが人搬送法を学んだ。

ワークショップ③

- ・【弱者支援】…「あいグループホーム天の川」の介護福祉士、理学療法士 8名  
車椅子や高齢者体験キットを使い、災害時にどのように弱者支援をしたら良いかを学んだ。

ワークショップ④

- ・【トイレ設営】…本校教諭2名  
段ボールとビニール袋で作れる簡易トイレの設営について学んだ。



4つの防災・減災ワークショップ風景  
※キャンプの第1日(午後)実施

4 **避難所の励ましレクリエーション体験**…唐木田児童館職員、中央大学の学生


避難所でもできるレクリエーションを楽しく学んだ。

5 **食事と寝床**

- ・寝床設営…本校教諭 男子…体育館、女子…クラブハウス  
薄いシートと毛布1枚、トレーナーを枕代わりに寝たが、「翌日は肩が痛くなり何日も続くときつい。」などの感想が出た。
- ・通路作り…本校教諭  
段ボールや低い机などでクラス毎に囲いを作り、少しでも落ち着ける空間を作った。
- ・食事 … (夕食) アルファ化米・缶詰1つ・水  
(朝食) 非常用クラッカー・水

体験後、生徒一人一人が避難所でできる具体的な行動を考え「できます」カードに書き込んだ。実際の避難所では、この「できます」カードを手に持ちながら避難所内を歩き回り、避難者の要請に応じて支援する活動を想定している。

**できますカード**

|                      |             |   |
|----------------------|-------------|---|
| <b>私は</b>            | <b>組・名前</b> |  |
| <input type="text"/> |             |   |
| <b>が できます。</b>       |             |   |

6 成果

- あらゆる場面（校内・自宅・外出先）で災害に遭うことを想定した主体的な行動姿勢を身に付けることができた。
- 避難所を想定し地域・諸機関と連携することで、人とつながる意識が芽生えた。

「多摩市未来こども会議」で生徒の代表が、防災の取組についてスライドを作成し、プレゼンテーションを行った。

**(2) 国際理解 留学生による授業**

モンゴル、イラン、ウズベキスタン、ネパールの留学生による自国の文化紹介の授業を、毎年1・2年で実施している。映像や実物に触れ、留学生に直接質問することでより深い国際理解につながっている。また、留学生の生き方を学び、将来の生き方を考えるよい機会となった。

**(3) 環境 ゴーヤ栽培**

技術科を中心として土壌作り、**ゴーヤ栽培**を地域の人材を活用して行い、地域環境と関連付けて学習を進めた。栽培されたゴーヤの苗は地域のコミュニティセンター等に配布した。

**(4) 伝統文化 世界遺産 食育**

**・修学旅行、都内巡り、このまさわ校外学習**

1年生はこのまさわ校外学習に向けて食の大切さについての学びを深め、2年生は都内巡りで江戸の今と昔の文化について、各自テーマを決めて課題解決学習を行った。3年生は京都・奈良への修学旅行で、世界遺産・日本の伝統文化についての理解を深め体験学習を行った。

**・琴体験授業**

音楽の時間に1年生が、地域の人材を活用して琴の体験授業を行った。

## ・貝あわせ・百人一首大会

**貝合わせ** 貝あわせは平安時代から伝わる貴族の遊びで、百人一首の原型とされている日本の伝統的な遊びである。「東京貝あわせ研究会」の方にきていただき、畳を6畳ずつ2カ所に敷き、その上に赤い毛氈もうせんを敷いて1クラスずつ行った。(1年生)

**百人一首大会** 1年生は散らし取りで行い、2年生では「ニュー多摩かるた会」の方に来ていただき、競技かるたについての講義を聞き、模範演技を披露してもらったあと源平合戦を行った。



## ・武道

体育の授業で、柔道を通して日本の伝統的礼儀作法を学んだ。

## (5) 平和・人権

道徳、総合的な学習の時間、社会、国語の時間を中心に世界平和と人権について学び、理解を深めた。特に杉原千畝、ハンセン病などについて学びを深めた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )